

全国就労移行支援事業所連絡協議会主催
「就労移行支援事業所 課題共有カンファレンス」
2013年3月18日（月）14:00～16:30
参議院議員会館B107号室

現場の実践から考える 就労移行支援事業の課題

全国就労移行支援事業所連絡協議会会員
NPO法人東松山障害者就労支援センター
法人理事・事務局長・センター事業部センター長 若尾勝己

事業所概要

- NPO法人東松山障害者就労支援センター
 - 障害者就業・生活支援センターZAC
 - 東松山市障害者就労支援センターZAC
 - 障がい者就業総合相談室リレーションシップセンター
 - 職業適性アセスメント
 - 第1号職場適応援助者
 - 多機能型事業所 就労支援センターZAC
 - 就労移行支援事業24名
 - 就労継続支援B型事業15名

事業所概要

- 埼玉県東松山市
 - 人口約9万人
 - 旧圏域23万人
 - 現圏域75万人
- 就移事業所(定員)
 - 市内3ヶ所54名
 - 旧圏域5ヶ所72名
 - 現圏域11ヶ所144名

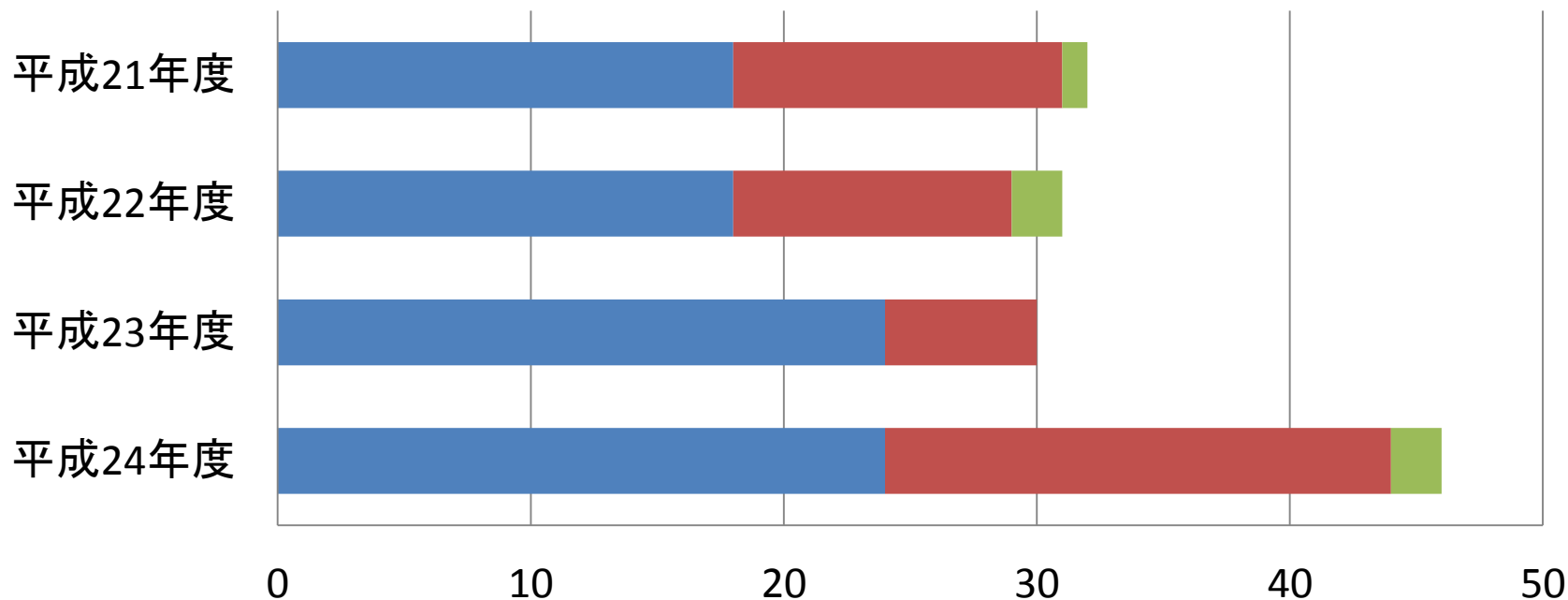


現場で起きていること

- 相談を受ける現場では…
 - 多種多様の方の相談が増加している
 - 「療育？精神？発達？」手帳を持たない方
 - いわゆる生活困窮者の方
 - 触法ケースの方
 - 様々な機関からの相談が増加している
 - 医療機関から
 - 相談支援事業所から
 - 一般県立高等学校から
 - 市町村行政機関から

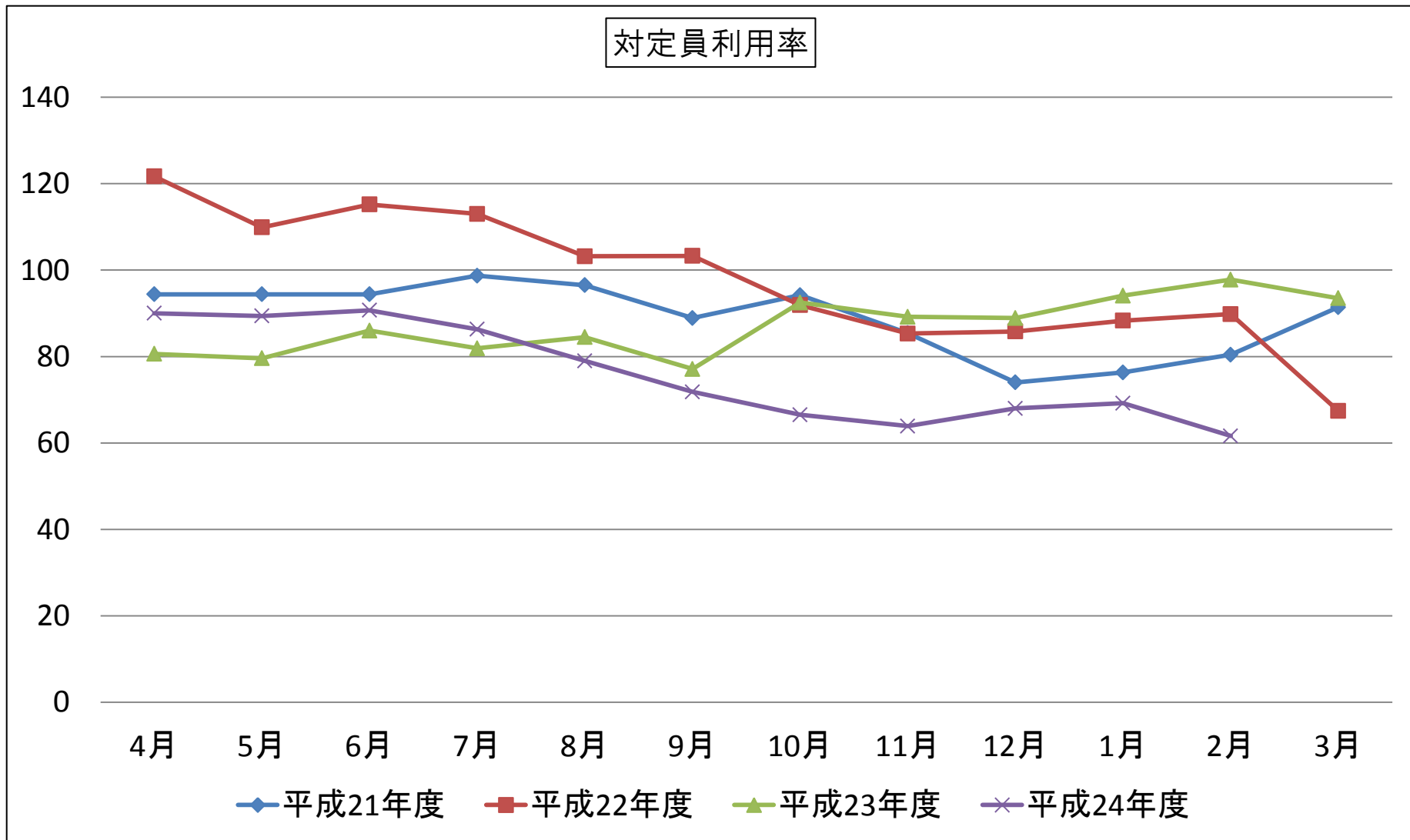
現場で起きていること

就労移行支援事業所過去データ



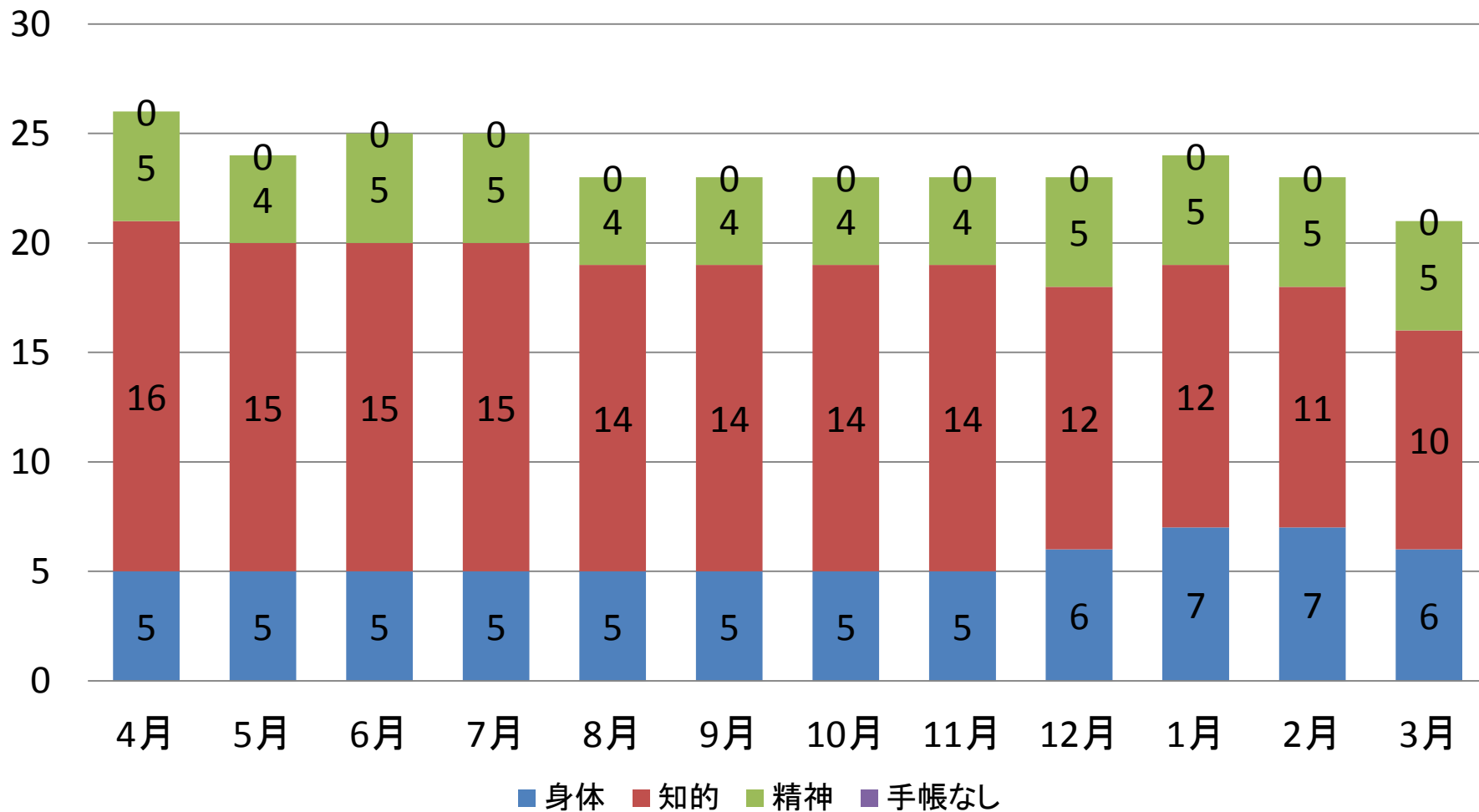
	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
■ 定員数	24	24	18	18
■ 就職者数	20 ←	6 ←	11 ←	13
■ 離職者数	2	0	2	1

現場で起きていること



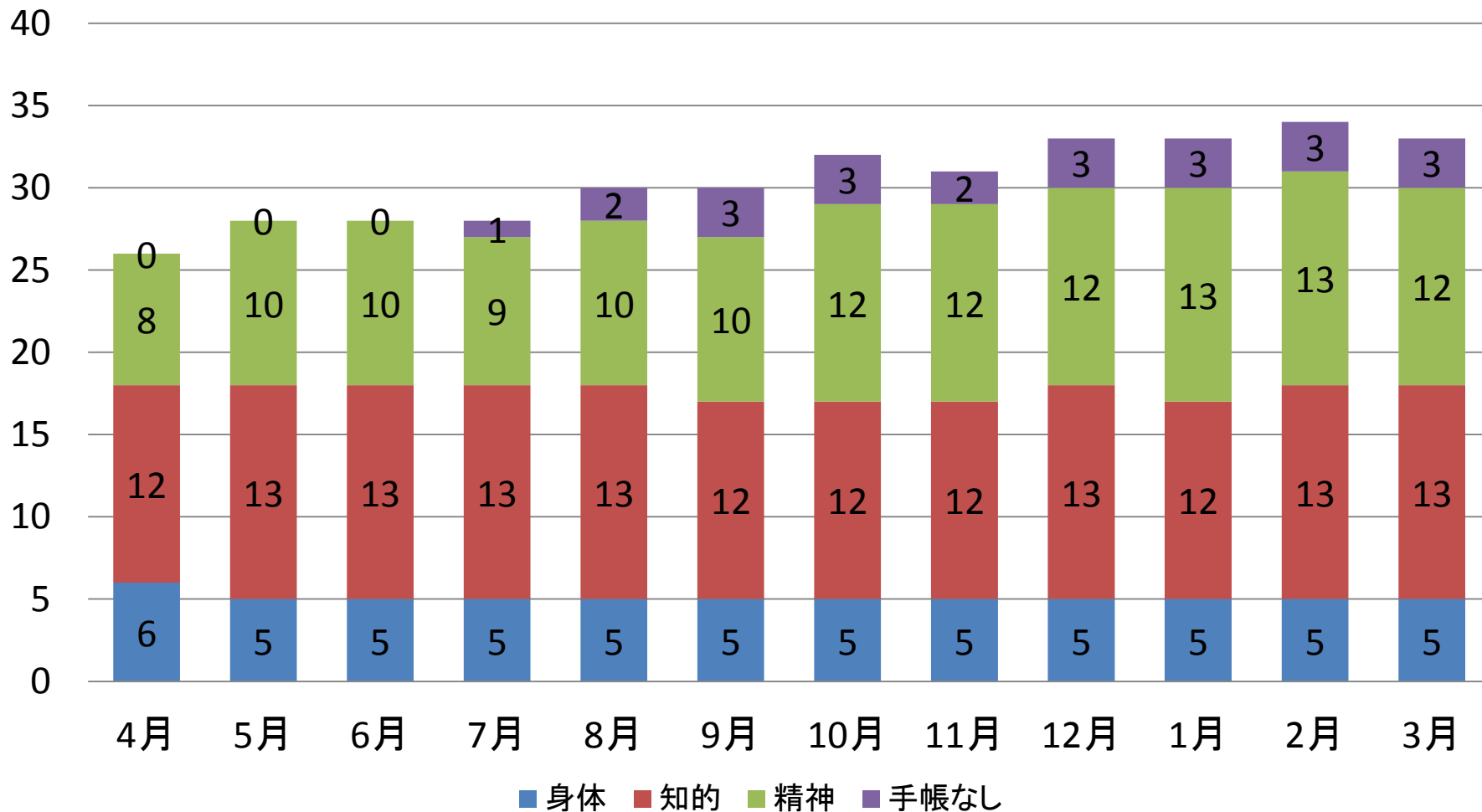
現場で起きていること

平成22年度障害種別利用者状況



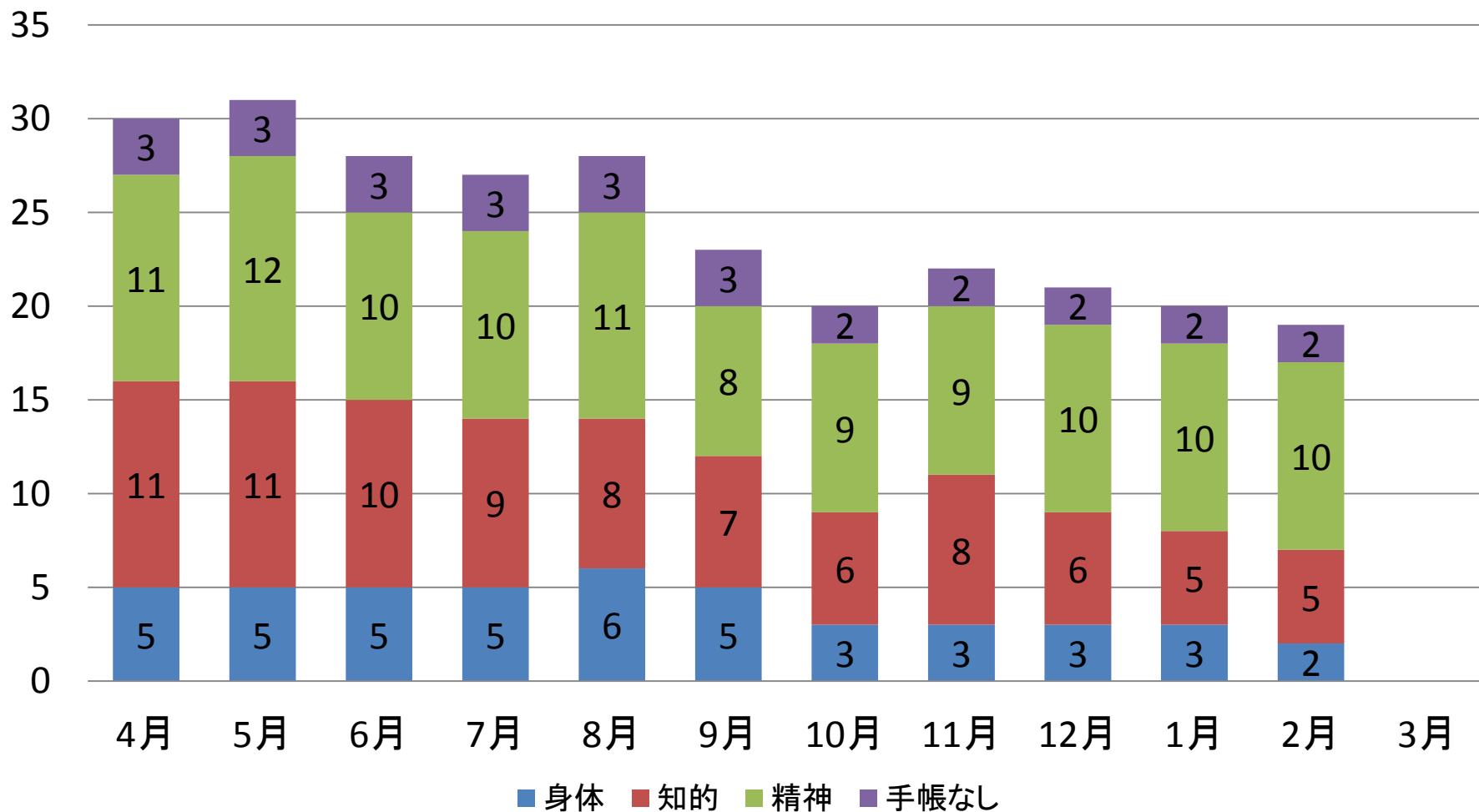
現場で起きていること

平成23年度障害種別利用者状況



現場で起きていること

平成24年度障害種別利用者状況



出口強化のために

- 就労へ向けた機能強化（出口強化）
 - － 法人全体のコンセンサスを構築
 - － 職員体制を適正以上の配置
 - 定員24名
 - 管理者1名サビ管1名（多機能型兼務）
 - 就労支援員3名職業指導員7名生活支援員2名
 - － 法人内部の他事業と密接にリンクさせる
 - 就業生活支援センター事業
 - 第1号ジョブコーチ事業
 - 就業総合相談事業（アセスメントチーム）

入口強化のために

- 安定経営に向けた機能強化
 - 対象者像に合わせたカリキュラムの構成
 - 評価のための職場実習先を数多く持つ
 - MWS訓練版を活用した日常カリキュラム
 - 就労者の離職率を下げる
 - アセスメントからジョブマッチング
 - 法人他事業とのリンクで定着支援の機能強化
 - 就労体制加算5の維持

運営上課題と感ずること

- 利用定員数の確保
 - 質と量の問題を常に抱えている
- 相談支援事所との連携
 - 就労支援のプロセスを理解していない
 - 就労アセスメントの専門性が無い
- 体制加算のあり方
- 人材育成のあり方
 - 埼玉県は実務3年でサビ管取得…？